



**楼門
1階解体①**

今月の楼門解体工事は、まず天井桁と呼ばれる部材を、クレーンを使って解体しました。

**楼門
1階解体②**

斗拱は、柱の台輪が取付くところから上の部分が細くなっており、そこに挿肘木を挿しこむ構造となっています。倒壊によって下層の側柱はすべて台輪・大斗あたりで折れてしまっているため、斗拱が柱に取付いた塊ごとに取り出し、解体を行いました。



**楼門
1階解体③**

組物から下にある、柱の下敷きになっていない大きな部材を、クレーンを使って解体しました。





**楼門
1階天井解体中**

9月で報告した時の状態です。

**楼門
1階解体中**

クレーン車を使い天井桁を解体したのち、手で組物の解体を行った後の状態です。



**楼門
1階解体中**

柱の下敷きになっていない部材を解体した後の状態です。





**二の神殿
浜縁縁板修理**

浜縁の縁板の繕い修理を行いました。
縁板の樹種は台湾桧であり、国産桧を繕い材として使用すると木目がうまくあいません。
そこで、取替となった縁板や解体した拝殿の古材を刳木材として使用しました。

**三の神殿
内部扉修理**

二の神殿と同じく浜縁の縁板の繕い修理と、現地で向拝柱と呼ばれる柱や壁板の繕い修理を行いました。
また、内部の扉は軸の部分で裂けてしまっていたので、加工小屋で接着を行いました。



**神幸門
上側の修理完了**

組物・墓股などの修理が完了し、足場を撤去しました。

↓ 撤去後の様子

